

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172001026		
法人名	有限会社イマージュ		
事業所名	グループホーム夢あかり		
所在地	北海道小樽市長橋3丁目17番17号		
自己評価作成日	平成 28 年 1 月 25 日	評価結果市町村受理日	平成28年3月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=0172001026-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1 あおいビル7階
訪問調査日	平成 28年 2月 24 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりが穏やかで楽しいと思える日常を実現することを目標とし、毎月買い物や季節の行事に出かける機会を設けたり、日常的に皆様が好きなうたをかけて、みんなで楽しむことができるよう努めている。職員間だけでなくご家族とも積極的に話し合いを行い、個別での外出の機会を作れるよう取り組んでいる。また環境についても、高校の近くということで学生たちの元気な姿が生きがいに繋がつている。地域住民の協力や他事業所との協定を結び、安全面についての配慮も行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【周辺住民との一体感】
地元出身で住民と交流のある管理者や職員の努力により、食料品等の差し入れや日常的挨拶交換、避難訓練や会議などホーム行事への多数の住民参加、災害時の避難場所に住宅の提供等と住民との一体感があります。
【家族・利用者と職員との信頼関係構築】
身体拘束や虐待の無い取り組みの徹底、一人ひとりの状態に即したケアプランと丁寧なケアサービスの実施、利用者・家族と職員間の良好なコミュニケーション等によって信頼関係があります。
【楽しみのある暮らしの支援】
季節を感じる山並みや公園の景観、花見や水族館などの外出、夢あかり祭り開催と住民との交流、幼稚園児やボランティアによる訪問、町内会行事への参加など明るく楽しい暮らしの支援に努めています。
【災害対策強化の取り組み】
住民参加の避難訓練や自主訓練実施、AEDの設置、食料品や暖房器具など備蓄品準備、避難場所に住宅の提供等住民の協力、他グループホームとの連携協力など災害対策強化に取り組んでいます。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 利用者の2/3くらい				2 家族の2/3くらいと
			3 利用者の1/3くらい				3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどつかんでいない				4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある				2 数日に1回程度
			3 たまにある				3 たまに
			4 ほとんどない				4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている
			2 利用者の2/3くらいが				2 少しずつ増えている
			3 利用者の1/3くらいが				3 あまり増えていない
			4 ほとんどいない				4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 利用者の2/3くらいが				2 職員の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが				2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 利用者の2/3くらいが				2 家族等の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が				
			2 利用者の2/3くらいが				
			3 利用者の1/3くらいが				
			4 ほとんどいない				

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内に理念を掲示して、毎朝の申し送りの際には理念を唱和し、共有・実践に繋げている。またホームページやパンフレット・広報誌にも記載している。	夢あかり独自の理念を内部掲示と毎朝の唱和、日常業務の話し合いやミーティングで確認し、利用者のケアサービスに反映させています。パンフレットやホーム便りにも理念を記載して家族や外部に理念を紹介しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の雪かき・草むしり、町内会の行事や当事業所の行事を通じて、地域との交流を深めている。町内会以外にも、幼稚園や他グループホームへ相互訪問する等、地域との交流を活発に行っている。	地元出身管理者の努力によって周辺住民から食料品等の差し入れ、散歩時の日常的挨拶、お祭りや避難訓練などホーム行事への積極的参加、災害時の避難場所に住宅の提供、幼稚園児の訪問など地域との親密な交流があります。	
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	当事業所では常時介護に関する相談を受け付けている。また、当事業所の実戦経験を活かし、地域の方々に認知症の方の理解と支援をしていただくため、年に数回勉強会も行っている。当事業所は入居者様の生活を第一に、地域の拠点となれる様、日々努めている。		
4		○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族、地域の方々、地域包括支援センター職員に参加していただき、年6回の運営推進会議を行っている。その中で当事業所の現状報告、意見交換を行いサービスの向上に活かしている。	運営推進会議は、多数の地域住民や家族、他事業所関係者が参加して年6回開催しています。会議では、運営状況報告と意見交換を行い、時には利用者の様子をスライドで紹介し、参加者からの意見等を運営に反映させています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月、市の介護保険課、生活保護課の職員や地域包括支援センター等と報告・連絡・相談が出来る機会を作り、協力関係を築くよう取り組んでいる。	管理者は、書類提出等で頻繁に市担当窓口を訪問して相談や意見交換を行い、地域包括支援センターと協力して地域の認知症関連勉強会講師を引き受けるなど市との協力関係強化に取り組んでいます。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束・虐待防止委員会が中心となり、毎月1回以上身体拘束や虐待につながる行動がないか確認し、適切な支援を行うよう努めている。玄関の施錠については、日中は自由な生活を提供するため施錠せず、夜間の夜勤者が1名の時間帯のみ防犯で施錠させていただいている。	職員は、身体拘束をしないケアを外部研修会受講や内部勉強会で理解し、毎月の会議で関連委員会が中心となってホーム内の状況を確認し合って利用者のケアに実践しています。玄関施錠が身体拘束になることも理解し、日中は施錠をしていません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃から身体拘束・虐待防止委員会、職員研修等を行い、ケアの振り返りや意見・情報交換が出来るよう努めている。また、何か新しい情報があった場合には社長より職員へ話をする機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当事業所には成年後見制度を利用されている入居者様があり、後見人の方が年に数回来所されています。その為後見制度について学ぶ事ができ、活用した支援を事が出来ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、必ず代表者・管理者が同席し、本人・ご家族に説明のもと、納得された上で契約を締結・解約している。入居後・退去後にも不安な事や疑問点があれば都度理解していただけるまで説明させていただき、対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様・ご家族に当施設でどのように暮らして行きたいか、契約前から意見・要望を聞き、実現できるよう努めている。入居後も本人との日々の会話等から気持ちを汲み取り、反映させている。また、当施設内にアンケートも用意し、意見をいただけるようにしている。	ホームを来訪する家族と利用者の様子や要望等を率直に話し合い、ホーム便りや担当者による個別連絡帳、電話等で利用者の情報を提供して、家族と職員間の信頼関係もできています。家族からの要望等は速やかに内部で検討してサービスに反映させています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度職員会議を行い、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。又、仕事外でも年に数度交流会を開き、代表者と職員が交流する機会を設けている。	職員間のコミュニケーションは良好で自由に話し合える関係づくりができています。また、法人代表も出席する職員会議で職員や各種委員会からの提案を検討し、運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は個々の能力や実績を把握し、その職員に合った職務・給与を与えている。また、毎月の休みも希望を取り、優先的な休日を取れるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に職員が研修を受ける機会を設け、スキルの向上や、資格習得ができるよう取り組んでいる。また、職員に職務を与えることでスキルが向上出来るよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	事業所の行事に相互訪問を行ったり、勉強会や交流会に参加することで同業者との交流を深めている。また近隣の事業所と連携し緊急時の対応等も出来るよう、ネットワークづくりも行っている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前から本人と話をする機会を設け、困っていること・不安・要望等を聞けるよう努めている。また本人の意思が尊重されるような関係作りにも力を尽くしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用前からご家族と話をする機会を設け、困っていること・不安・要望等を聞けるよう努めている。また利用者様の生活がより良いものとなるよう、ご家族のお話が聞ける様な関係作りにも力を尽くしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族の実情や要望をもとに、以前のサービス利用や趣味の継続等を含め、今何が必要か見極め事業所として出来る限りの対応をし、サービス利用後に安心した生活が送れるようよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において出来る事はやっただき、職員は出来ないことを支援し、食後の後片付け等も分担して行っている。行事やレクリエーションの際には、職員と入居者様が一緒に準備し参加する事で、共に楽しむ様努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来ていただける様促したり、電話等で日々情報共有できるよう努めている。又、本人の希望を実現するため、必要に応じご家族に依頼し協力をしていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係継続のため、手紙や電話のやり取りを行ったり、ご家族と協力し外出支援を行っている。	利用者の希望に応じて昔馴染みの店、美容院、入居前の住所地域の行事見学などの外出に家族の協力を頂きながら支援しています。知人などの来訪者は温かく歓迎してゆっくり過ごせるよう配慮しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立せず、日々楽しく生活していただける様、気の合う方が同士が同じテーブルで食事や交流が出来る様座席の配慮をしている。職員が交流に加わったり、レクリエーションを行う事で、いろいろな方と交流出来る様努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も関係が切れることなく、相談等があった際にはすぐに対応し、支援できるよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々利用者様の言動や行動に目を向け、アセスメントを絶えず行っている。得た情報は記録に残し職員間で情報交換を行い、希望にそったケアを統一して実施できるよう努めている。	利用者に関する諸記録と日常のケアサービス時の様子等から一人ひとりの思いや意向を把握していますが、困難な時は家族からの情報や職員間の相談、職員からの話しかけに対する反応などで判断して支援しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族にも協力していただき情報収集し、プライバシーに配慮しながら職員間での情報の共有を行っている。得た情報をもとに、日々の生活が楽しいものとなるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録の他に健康管理ファイルを作成し、日々の心身の変化や現状を把握できるよう工夫し、自身の能力の維持向上に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に数回ケアカンファレンスを行い、現状の把握やケアの方向性について話し合う場を設け、決定事項については連絡ノート等を用い全職員が周知し、すぐに実践できるよう努めている。また必要な場合にはご家族からの意見や同意をいただいている。	担当職員が中心となってモニタリング等で利用者の状態を見守り、頻繁に行うカンファレンスでプラン見直しの是非を検討しています。プラン見直し時には家族とも相談し、申し送りや連絡ノート等で変更事項を全職員が共有して支援に努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルに毎日の記録や必要な情報を保管し、いつでも見直すことが出来るようにしている。また、ケアの方針が変わった際には、介護記録も変更しケアプランにそったケアが出来るよう工夫している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	代表者・管理者を含め全職員がニーズに対応できるよう考え、様々な事業展開にも力を入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	他施設や町内会の行事に参加したり、近隣幼稚園との交流を通して地域とつながることで、日々の楽しみへと発展している。また、習い事や近隣の学校の学生や地域住民の頑張っている姿を見ることを楽しみにされている方もいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・ご家族の希望にそってかかりつけ医を決め、受診の際は職員・ご家族が同行し受診の支援をしている。協力医療機関には2週ごとに往診に来ていただいている。	協力医療機関による訪問診療が月2回ありますが、かかりつけ医や他の医療機関通院には家族と連携をとって家族と職員又は職員が付き添い支援をしています。また、看護師による利用者の健康状態等チェックも毎週実施しています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康管理ファイルを作成し、日々の情報が看護師にも伝わるよう努めている。また、ケアカンファレンスの際にも看護師に参加してもらい意見交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と連絡をとり情報交換や相談を行い、入院時に安心して治療できるよう医療機関との関係作りにも努め、早期退院につながるよう準備を整えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	入居の際から重度化した場合や終末期を迎えた場合について、本人・家族等に事業所として出来ることを十分に説明し、理解を得られるよう努め、本人・ご家族の意向を尊重した支援ができるよう、医療機関との連携を取りながら支援に取り組んでいる。	ホームでの看取りが可能で、入居時に「重度化と看取り指針」及びホーム支援の概要を説明して同意書を頂いています。利用者の状態変化によって再度、家族や主治医と相談し、家族意向を尊重して支援しており、職員も看取りに関するホーム方針を共有しています。	過去に看取り事例はありますが、今後、重度化及び看取り支援が増えるの可能性もありますので、指針以外にホームとしての具体的対応策の説明文書の作成や勉強会等による職員の関連スキルアップを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に1回以上消防職員を招き、一般救急救命やAEDの講習をしていただいている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に数回避難訓練を行い、災害対策を行っている。その際地域の方やご家族にも参加していただき、相互理解を深めている。	年2回の定期避難訓練には住民も参加し、年数回の自主訓練と毎月防火点検を実施しています。さらに、住民から避難場所の提供、AED設置、食料品などの備蓄品、停電時用の石油ストーブ、他グループホームとの連携協力など災害対策強化に取り組んでいます。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを尊重し、入浴や排せつ等の日々の介助や声掛けを行っている。大切な話がある際には本人の居室に行き話をする等の配慮もしている。	ケアサービスや声かけの仕方に人格尊重と誇りを損ねないよう十分配慮しており、会議や勉強会でも話し合って実践しています。介護記録など個人情報に関する書類も外部者が自由に閲覧できないよう事務室内に適切に保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が意思表示や自己決定出来る様、選択する場面作りや声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	一人ひとりのペースを大切にし、出来るだけ希望にそった支援が出来る様努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみが整えられるよう訪問理・美容を利用したり、買い物に出かける機会をつくるよう努め、支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者様が一緒に食事準備・後片付けを役割として行い、食事の際は楽しく食事できるようテレビ・会話等で雰囲気作りに配慮している。アレルギーや病気・食べられない物は別メニューを提供し、対応している。	朝食以外の献立は食材会社によるものですが、行事食などはホーム独自の献立です。一部利用者は食事準備や後片付けを行っています。現時点では複数の食事介助者のため職員と一緒に食事をする事ができませんが、そばで話しかけて楽しい雰囲気づくりに努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた食事を作り、一人ひとりに合わせた量や形態で提供している。また栄養不足や脱水症状にならないよう、食事状況を記録に残し、全職員が把握できるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛け・誘導を行い口腔ケアを実施している。義歯・マウスカップ・歯ブラシは定期的に消毒を行い、必要に応じ訪問歯科に来ていただき診察・指導をしていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄つパターンを把握し、適時声掛け・誘導を行っている。	利用者一人ひとりの排泄状況を記録して把握し、自立排泄の困難な利用者には時間間隔や表情を見守りながらさりげない声かけ誘導でトイレ排泄を支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄つにつながらよう水分や食物繊維の摂取を心がけて予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	週2回入浴日を設けているが、外出や体調不良の際には時間や曜日をずらして入浴していただく等の対応をしている。また、入浴日ではない日の入浴希望があった際には足浴やシャワー浴にてさっぱりしていただいている。	週2日の入浴日を設定し、午前・午後に入浴剤などを使用して気持ち良く入れるよう工夫していますが、利用者の状況に応じて日時変更やシャワー浴などで身体の清潔維持に努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は体調に合わせ、都度休息を促している。また介助が必要な方にも適時声掛けをし、ソファやベッドへ誘導している。夜間は基本的に消灯時間を設けず、自分のペースで入眠していただけるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員一人ひとりが担当の入居者様の薬を作る事で薬に対する理解を深め、健康管理ファイルを利用し症状の経過観察が出来る様工夫している。また、服薬するまでの過程で多くの職員が関わり、確認することで誤薬を防ぐよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味やホーム内での役割を持っていたくことで毎日の生活の楽しみになるよう支援している。その他にも月に1回以上外出や全員参加のレクリエーションを行い、いつもと違う楽しみも感じていただけるよう企画している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に散歩や買い物等を行い、希望にそった外出支援が出来る様取り組んでいる。また、都度ご家族に協力を依頼し、いままで参加されていた行事や自宅・習い事へ通えるよう積極的に支援している。	天候状態に合わせてホーム周辺の散歩や隣接公園で寛ぎ、お店で買い物やお祭り見学、家族との外出もあります。また、果樹園や水族館への外出などレク・行事委員会が中心となり職員全員で年間行事計画を立て実行しており、楽しく変化のある暮らしの支援に努めています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で管理出来る方にはお小遣いとは別に、個人の財布等にお金を持っていたき、買い物に行った際には出来るだけお小遣いからではなく、財布の中からお金を使っていたいっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があった際には電話を渡したり、職員が代わりにかけたりさせていただいている。年賀状を送る方や、趣味の絵手紙を書く方の道具の準備や、投函の支援も行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内の飾りは行事に合わせて変えている。また、施設内の温度・湿度・光量・音量の調節を行い、住みやすい環境づくりにも努めている。	共有空間の居間兼食堂には広いベランダがあり、遠くの山並み景観が四季を感じさせます。温湿度も管理された居間兼食堂には季節の飾りや利用者の作品によって親しみのある雰囲気の中で利用者も日中をのんびりと過ごしています。トイレ、浴室、玄関等の共有空間もバリアフリーで使いやすく、住みやすい構造です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	楽しい毎日を過ごしていただけるよう座席の配置には十分に配慮し、決めている。また、気分転換が出来る様、共用スペースにソファを設置している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には以前から使用していた物を持参していただき、安心して過ごしていただけるように配慮している。また、新しく安心に繋がるものがわかった場合には迅速に対応している。	ゆったりとした居室の広い窓から山並みや隣接の公園を觀賞できます。室内は清掃も行き届き、利用者の馴染みの家具類を好きなように配置して壁面に写真などを飾り、落ち着いた雰囲気の中で居心地良く、暮らしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動線の確保に努めるため手すりやいす等を配置している。また安全面も考慮し、混乱の出ない範囲で障害物の撤去や配置換えも行っている。		